

学校だより



津市立橿形小学校
R2. 5. 1 発行
第2号 文責：校長

～こんな時こそ、みんなで知恵を出し合い、 協力し合って前を向いていこう！～



若葉が輝く季節になってきました。保護者の皆様、地域の皆様には、新型コロナウイルス感染症対策にご対応いただきありがとうございます。今、日本だけでなく、世界中が新型コロナウイルス感染症への対策に頭を悩ませています。インフルエンザは春になると収まってきますが、このウイルスは現段階ではそうではありません。「iPS細胞」の研究でノーベル賞に輝いた京都大学の山中伸弥教授は、このウイルスとの闘いは、100メートルダッシュじゃなくて長いマラソンと同じ。息切れしないように走り続けないと駄目だと言っていました。まさにその通りだと思います。学校では、連休明けに子どもたちと会えることを楽しみにしていましたが、子どもたちの命と健康を最優先に考え、全ての津市立小・中・義務教育学校及び幼稚園の臨時休業期間が**5月31日（日）まで延長**となりました。

例年4月・5月は新しい担任と子どもたちが一年の目標を決めて学級づくりをしていく大切な時期です。その時期に今までのように新年度を迎えられていませんが、橿形小学校では、少しでも子どもたち、保護者の方とより良い関係を築いていけるように、そして、学校再開後の学習にスムーズに入れるように、子どもたち一人一人の顔を思い浮かべながら、学習課題を作成し、学年によって多少回数は違いますが毎週学級通信と一緒に課題を届け、回収することを続けています。学習課題は、すでに予習という形で初めて学習するものも届けています。分からないところが出てくるのは当然のことで、その分からないところを何とか調べてやってほしいと考えています。4月から全面実施となった新学習指導要領でも、主体的に学習に取り組む力、自ら考える力、自ら問う力を付けることが必要とされています。今、この状況の中、家で学習を進め、生活を進めていかなければなりません。この休校中を実践的な力をつけていく期間だと前向きにとらえ、挑戦してほしいと思います。どうしてもわからないところや困ったことは学校へ電話で聞いてもらって結構ですし、休校が明けてから担任が確認し、一緒に勉強するので安心して取り組んでほしいです。また、学校から出された課題ばかりでなく、自分で考えたいいろんなことに挑戦してみることで、自分はこんなことが好きだったんだとか、こんなことに夢中になれるんだという発見を楽しみながらしてほしいです。休校が明けたら、そんな話を子どもたちから聞けることも楽しみにしています。

休校期間中も保護者の方には、たくさんのご協力ご支援をいただいていますこと、改めてお礼申し上げます。本当にありがとうございます。また、地域の方からも今回の状況を心配して、応援や励ましの言葉をいただいています。休校前には、殿舟団地のグランドボールの有志5名、鳶田さん、鈴木さん、川上さん、米村さん、浅香さんから手作りマスクを届けていただき、子どもたちに配布させていただきました。さらに休校中には、橿形小学校職員分も届けていただきました。マスク不足の中、本当にありがたかったです。改めて保護者の皆様、地域の皆様の温かさを感じ、それらを力として皆さんと共に橿形チームとしてこの状況を受け入れ、がんばっていきます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



*裏面に令和2年度「橿形小学校 学校経営方針」を掲載しています。